

吉野川で遊ぼう！！



水辺の楽校「ぶぶるパークみかも」(東みよし町)

こんにちは。川遊び大好きアクティブ系河川管理者「遊び人のM」です。
吉野川で遊ぼう！！では、自ら体験し、川を楽しみ、感じたことを発信します。
第6回は「吉野川スラックライン」です。

スラックラインとは簡単に言うと「綱渡り」です。

幅5cmのラインの上で、立つ、歩く、跳ねるヨーロッパ発祥のスポーツで、バランス感覚や集中力などを鍛えることができます。

日本でも徐々に広まっており、ワールドカップで優勝した大杉徹さんや女子世界ランキング1位になった福田恭巳さんなど、世界で活躍する選手がいます。



インストラクター
藤原さん(のびさん)



四国に一人しかいない日本スラックライン連盟公認インストラクターの藤原伸夫さんと東みよし町にある水辺の楽校「ぶぶるパークみかも」でスラックラインを楽しんできました。



子供はすぐに歩きます



大人がハマります

はじめてスラックラインに足をかけると、ほとんどの大人は立つこともできません。足がプルプルして、笑ってしまいます。1時間もすると少しずつ歩けるようになり、初めてラインを渡りきったとき(たった5mくらいでも)何とも言えない達成感があります。

ちなみに子供はさらっと立ちます。

★体験レポート (from ピロ太郎)

こんにちは。スラックライン初挑戦のピロ太郎です。



12月の冬空の下、遊び人Mと愉快的仲間たち20名でスラックラインを体験しました。

スラックライン... 聞いたこともないスポーツで、遊び人Mに動画を見せてもらったときは、ライン上で飛んだり、跳ねたり、回転したりととても人間業とは思えないアクロバティックな動きで、もの凄い衝撃を受けました。

遊び人Mから「最初はライン上を歩いて渡るだけでいいから」と聞き、私は「歩いて渡るだけなら簡単そう！すぐ出来る様になるだろ～」と安易に考えていました。

しかし当日。まさかの一步も歩けない、それどころかライン上に立つことさえままならない。生まれたての子羊のように足をぶるぶる震わせていました。

「な、なんで出来ない！でも楽しい！！」と思ったのが私の第一印象でした。

スラックラインの良いところは楽しみながら、体幹・集中力などを鍛えることが出来ることです！！ただ歩くだけなのになぜか無性にまたしたくなる。これがスラックラインなのです。運動不足の私にはもってこいのスポーツ、近々、スラックラインに必要なラインを購入しようと考えています。(ピロ太郎)



スラックライン初体験で
大技スプリット



ロングライン



ダブルドロップニー
を決める裕美子先生

風が強くて寒かったですが、4歳からアラフォーまで、4時間以上楽しく遊びました。集中し、バランスをとり、歩くだけで、身体が温かくなります。帰るころには、全員がラインの半分くらいを歩けるようになりました。ピロ太郎くん、スラックライン届きましたよ。



いつか吉野川を渡ってみたいなあ。